

Windows PCを使った音声データの作成、保存の方法

今回は、応募者の皆様に、従来のカセットテープではなく、デジタル形式のデータで音声をご提出頂くことになりました。以下に、特別な機材を使わず、Windows搭載のPCで音声データを作成、保存して頂く方法をご説明しますので、参考になさってください。なお、個別のパソコンにより操作方法や外観が若干異なるケースがありますが(ソフトウェア構成等が異なるため)、個別のサポートは致しかねます。取扱説明書等をご参照のうえ、ご自身の責任で操作を行って下さい。

● はじめる前に

用意して頂くもの

- Windows搭載のPC (ただし、ディスクドライブがCD-R保存に対応していること。)
- マイク (PCに接続しSkype等に使用するマイク。量販店で安価で購入できます。)
- 空のCD-R (家電量販店のほか、コンビニ等で購入出来ます。650MBでも700MBでも可。)

● 手順1：PCの準備

ここではWindows Vistaを例に説明しますが、XPでも手順はほぼ同じです。

1. PCのマイク端子にマイクを接続し、画面右下のボタンを右クリックします。
- 2.



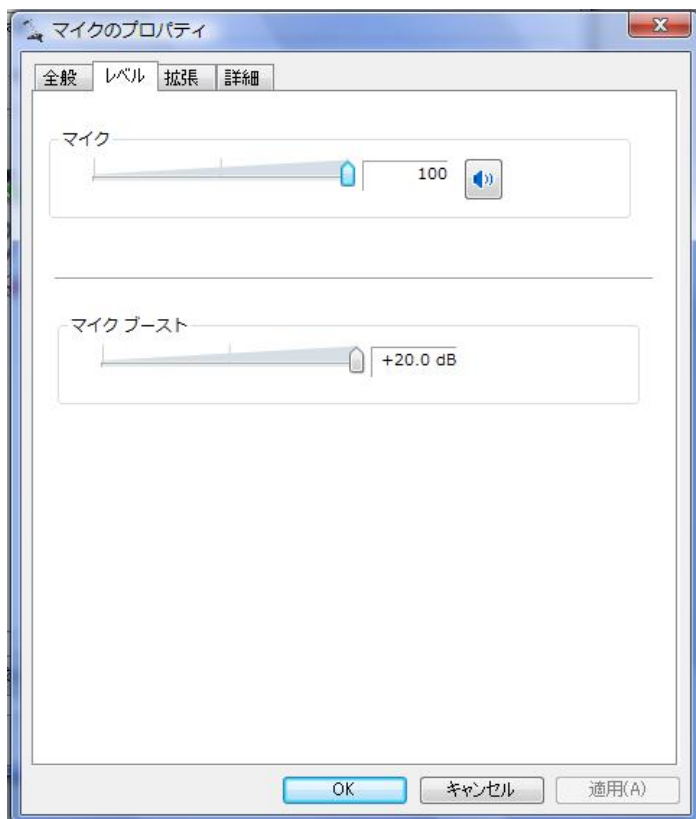
上のようなメニューが現われますので、「録音デバイス」をクリックします。

- 3.



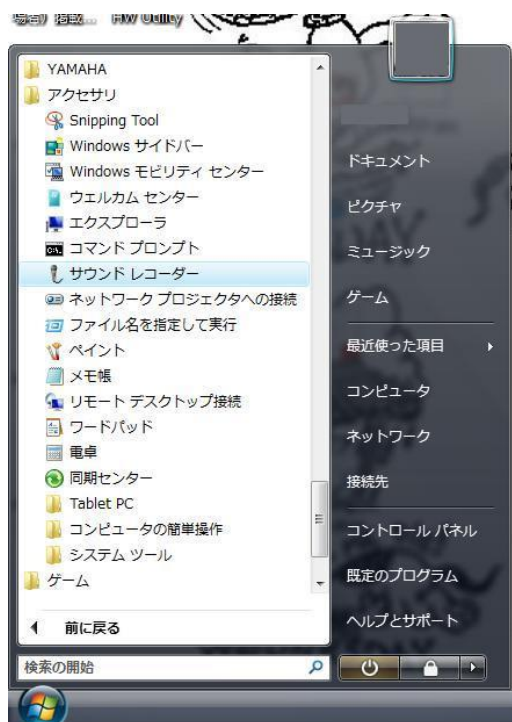
「サウンド」というウィンドウが現われますので、「マイク」を右クリック、メニューから「プロパティ」をクリックします。

4.

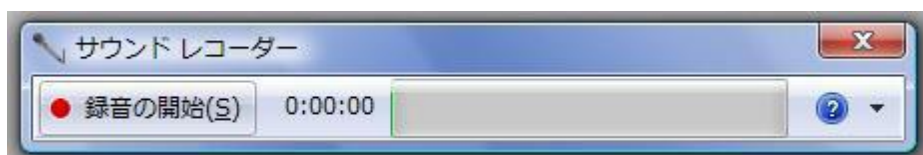


・ 「マイクのプロパティ」というウィンドウが現われますので、「レベル」タブを選択、上部「マイク」の音量メモリが0になっていないこと（値が小さすぎると録音が成功しないので、50以上を推奨）、右隣のボタンに赤い印が付いていないことを確認し、「OK」をクリックして下さい。3. で出現した「サウンド」ウィンドウも閉じて下さい。

手順 2 録音



1. Windowsボタンから「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「サウンドレコーダー」と順にクリックして下さい。(上図参照。)



「サウンドレコーダー」が起動します(上図参照。)もう一度、マイクがマイク端子に正しく挿入されていることを確認し、「録音の開始」ボタンをクリック、すぐにスピーチの吹き込みを開始し、指定された時間内に録音してください。

【Windows XP以前のOSを使用する方へ。】

Windows XP以前のバージョンに搭載されているサウンドレコーダーは、初期設定では60秒までしか録音が出来なくなっています。以下のウェブサイトアクセスし、記載されている方法で十分な録音可能時間を確保してから、Speechの吹き込みを行って下さい。



参考URL: <http://search.vaio.sony.co.jp/solution/S0004120002674/>

2. 録音の停止

決められた時間の範囲内で吹き込みを終了し、「録音の停止」をクリックします。自動的にファイル保存の画面が現われますので(XP以前は手動)、PC内の任意のフォルダに指定されたファイル名で保存してください。

(ファイルの拡張子は、XP以前がWAV、Vista以降がWMAとなっています。)

保存した音声ファイルは、必ず提出前に再生して、正しく録音されていることを確認してください。音声ファイルのエラー(中身が無音である、途中で切れている、等)について、提出後に実行委員によるフォローは致しかねますので、ご注意下さい。

※再生時に音割れを起こす場合

- 解決策：1. マイクからもう少し口を遠ざけて録音しなおす。
- 2. マイク音量(手順1の4)を少し下げて録音しなおす。

※再生時にスピーカー音量を上げても音が小さすぎる場合

- 解決策：1. マイクにもう少し口を近づけて録音しなおす。
- 2. マイク音量(手順1の4)を少し上げて録音しなおす。

● 手順3：CD-Rに保存

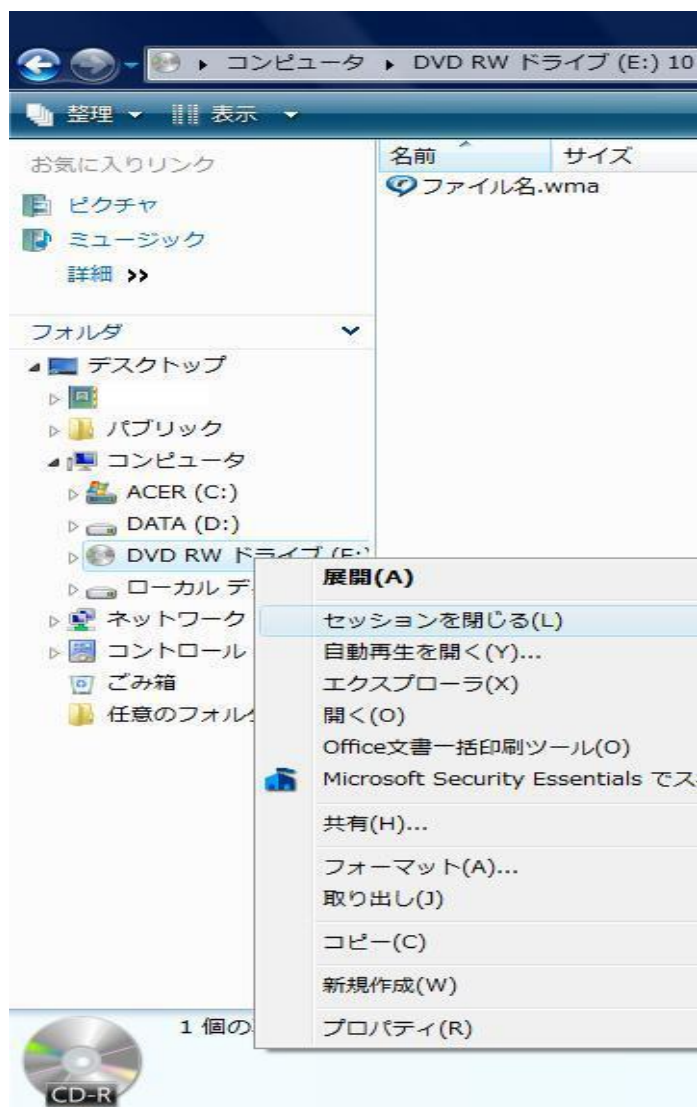
※ 単純にデータとして保存して頂ければ、デッキ等で再生出来るオーディオCDにして頂かなくて構いませんので、ご安心下さい。

1. ディスクドライブに、空のCD-Rを挿入して下さい。
2. ディスクタイトルを指定するウィンドウが現われますが、変更せずに進んで構いません。自動でディスクが初期化されるのをお待ち下さい。Windowsボタンから「コンピュー

タ」を開き、CDドライブを開きます。任意のフォルダから、CDドライブのウィンドウにファイルをドラッグ・アンド・ドロップして来て下さい。

3. ウィンドウの左下「フォルダ」ビューからCDドライブを選択して右クリック、メニューから「セッションを閉じる」をクリックして下さい。データがディスクに焼かれ、他のPCでも再生出来るようになります（次ページの図参照。）

4. 取り出したディスクは、インビテーションの指示に従って、応募書類とともに期日までにお送り下さい。



<最後に>

ここでご説明したソフトウェア、方法を使用せずとも、ご自分で普段使用されている機器等があれば、ご自由にお使い頂いて構いません。しかし、その後の作業の都合上、

音声データの形式はMP3のみ許可し、その他は一切認めません。

(携帯電話のICレコーダー機能はファイル形式が異なるのでご注意ください。)

応募者の皆様には、お手数をおかけし大変恐縮に存じますが、円滑な運営にご協力頂きたく、何卒よろしくお願い致します。